

第73回ふじのくに防災学講座

日時 平成27年12月20日（土）10時30分～12時00分

会場 静岡県地震防災センター（静岡市葵区駒形通5丁目9-1）

テーマ 「市民が行う災害救護について」

＜講師＞ 浜松医科大学医学部救急災害医学講座

吉野 篤人 教授

【講演概要】

大災害の急性期には、公的支援よりも市民による自助共助が重要であることは、阪神大震災でも東日本大震災でも同様でした。

災害医療では「トリアージ (Triage)」に注目が集まりがちですが、応急処置 (Treatment) や搬送 (Transport) も重要です。またそれらがうまく機能するためには、「CSCA」(Command & Control : 指揮と連携、Safety : 安全確保、Communication : 情報伝達、Assessment : 評価) をまず確立すべきとされています。講演では、大災害時に市民が行うCSCATTTIについて、どのような方法で行うことができるか吉野教授から分かりやすい説明がありました。また、最後に東日本大震災での吉野教授自身の救護活動についての報告がされました。

【当日の様子】

